

工場別環境データ

大気関係測定データ(主要施設)	34
水質関係測定データ(主要排水)	34
ダイオキシン測定データ	35
PRTR対象物質	35
ヨコハマタイヤ・フィリピンの環境データ	37
横浜ハイデックスの環境データ	37
環境保全活動の歩み	38

大気関係測定データ(主要施設)

事業所名 施設名称	項目	規制値	2001年度実績			法律名称等
			最少	最大	平均	
平塚製造所 2号ボイラ -	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	95	48	66	57	大気汚染防止法 神奈川県条例
	ばいじん量 (g/H)	747	32	66	49	
平塚製造所 CGS	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	20	11	16	13	大気汚染防止法 神奈川県条例
	ばいじん量 (g/H)	2176	82	210	130	
三重工場 ボイラ -	硫黄酸化物排出量 (m ³ N/H)	12.3	0.143	0.989	0.598	大気汚染防止法 御園村・伊勢市公害防止協定
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	180	142	166	152	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.1	0.001	0.043	0.010	
三重工場 焼却炉	硫黄酸化物排出量 (m ³ N/H)	6.2	1.592	3.323	2.397	大気汚染防止法 御園村・伊勢市公害防止協定
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	300	53	75	66	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.3	0.001	0.076	0.014	
三島工場 ボイラ -	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	150	23	50	36.5	大気汚染防止法 三島市指導値
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.1	0.001以下	0.001	0.001	
新城工場 1号ボイラ -	硫黄酸化物排出量 (m ³ N/H)	8.2	3.61	5.02	4.01	大気汚染防止法 愛知県条例
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	150	110	140	128	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.2	0.029	0.065	0.043	
新城工場 2号ボイラ -	硫黄酸化物排出量 (m ³ N/H)	7.38	3.58	4.11	3.88	大気汚染防止法 愛知県条例
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	150	120	140	130	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.2	0.03	0.062	0.045	
尾道工場 ボイラ -	硫黄酸化物排出量 (m ³ N/H)	5.0	0.036	0.069	0.056	大気汚染防止法 広島県・尾道市公害防止協定
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	200	57	78	72	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.1	0.0011	0.0025	0.0020	
茨城工場 ボイラ -	硫黄酸化物 (K値)	10	0.08	0.12	0.06	大気汚染防止法 美野里町公害防止協定
	窒素酸化物濃度 (cm ³ /m ³ N)	250	44	48	46	
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.2	0.001以下	0.004	0.002	

水質関係測定データ(主要排水)

事業所名 排水口名	項目	規制値	2001年度実績			法律名称等
			最少	最大	平均	
平塚製造所	PH	5.7 ~ 8.7	7.2	7.9	7.5	平塚市下水道条例
	BOD濃度 (mg/l)	300	8	57	32	
	SS濃度 (mg/l)	300	6	62	28	
	油分濃度 (mg/l)	30	1	4	3	
平塚製造所 ハマタイト工場	PH	5.7 ~ 8.7	7.4	8.4	7.9	平塚市下水道条例
	BOD濃度 (mg/l)	300	3	70	30	
	SS濃度 (mg/l)	300	11	70	31	
	油分濃度 (mg/l)	30	1	5	2	
三重工場 No.1排水	PH	6.0 ~ 8.0	6.7	8.0	7.2	御園村・伊勢市公害防止協定
	BOD濃度 (mg/l)	20	1.5	3.9	2.6	
	COD濃度 (mg/l)	20	1.4	4.5	3.1	
	SS濃度 (mg/l)	40	1.1	5.9	2.3	
	油分濃度 (mg/l)	2	0.5以下	0.7	0.5以下	
三重工場 No.2排水	PH	6.0 ~ 8.0	7.0	7.7	7.3	御園村・伊勢市公害防止協定
	BOD濃度 (mg/l)	20	1.0	2.0	1.6	
	COD濃度 (mg/l)	20	1.5	3.0	2.2	
	SS濃度 (mg/l)	40	1.0以下	4.7	1.9	
	油分濃度 (mg/l)	2	0.5以下	1.3	0.6	
三島工場	PH	5.8 ~ 8.6	7.5	8.2	8.0	水質汚濁防止法
	BOD濃度 (mg/l)	160	1.5	6.9	5.63	
	COD濃度 (mg/l)	160	2.5	3.5	3	
	SS濃度 (mg/l)	160	1.0以下	1.8	1.2	
	油分濃度 (mg/l)	5	1.0以下	1.1	1.01	
新城工場 No.1排水	PH	5.8 ~ 8.6	7.1	7.6	7.4	愛知県条例 公害防止協定
	BOD濃度 (mg/l)	25	0.6	4.9	2.1	
	COD濃度 (mg/l)	25	1.5	4.3	2.6	
	SS濃度 (mg/l)	30	1.0	5.0	1.9	
	油分濃度 (mg/l)	5	0.5以下	0.5	0.5以下	
新城工場 No.2排水	PH	5.8 ~ 8.6	7.2	8.1	7.5	愛知県条例 公害防止協定
	BOD濃度 (mg/l)	25	0.8	2.7	1.4	
	COD濃度 (mg/l)	25	1.4	6.7	2.4	
	SS濃度 (mg/l)	30	1	8	1.5	
	油分濃度 (mg/l)	5	0.5以下	0.5	0.5以下	
尾道工場	PH	5.0 ~ 9.0	7.4	8.2	7.8	尾道市下水道条例
	BOD濃度 (mg/l)	600	47	110	78.5	
	SS濃度 (mg/l)	600	30	38	34	
	油分濃度 (mg/l)	30	3	9	6	
茨城工場	PH	5.8 ~ 8.6	7.0	8.1	7.6	茨城県条例 美野里町公害防止協定
	BOD濃度 (mg/l)	10	1.0以下	4.2	2.1	
	COD濃度 (mg/l)	20	1.0以下	5.1	2.7	
	SS濃度 (mg/l)	30	1.0以下	5.6	1.7	
	油分濃度 (mg/l)	3	0.5以下	0.5以下	0.5以下	

ダイオキシン測定デ - タ

事業所名 施設名称	項目	規制値	2001年度実績値	法律名称等	備考
平塚製造所 (ハマタイト工場)	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	80	0.003	ダイオキシン類 対策特別措置法	2002年11月末迄に廃止予定
廃プラ焼却炉 平塚製造所 (ハマタイト工場)	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	80	1.2	ダイオキシン類 対策特別措置法	2002年11月末迄に廃止予定
紙焼却炉 三重工場	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	80	1.9	ダイオキシン類 対策特別措置法	
焼却炉	排出水 (pg-TEQ/L)	50	5.3	ダイオキシン類 対策特別措置法	
三島工場 焼却炉	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	80	0.53	ダイオキシン類 対策特別措置法	2001年12月1日廃止
尾道工場 焼却炉	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	80	16.23	ダイオキシン類 対策特別措置法	2002年9月末迄に廃止予定

PRTR対象物質

(単位:トン/年)

平塚製造所 (除ハマタイト工場)

物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋立処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	106.1	0	0	0	0.30	1.2	0	0
ふっ化水素及びその水溶性塩	81.1	0	0	0	0	0.03	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	81.1	0	0	0	0.20	0.93	0	0
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	73.3	0	0	0	0.65	2.4	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	69.3	0	0	0	0.61	2.3	0	0
ビスフェノールA	61.3	0	0	0	0	7.4	0	0
エチレングリコールモノメチルエーテル	49.8	17.1	0	0	0	7.8	0	0
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC-141b)	42.1	39.4	0	0	0	2.8	0	0
トルエン	34.8	18.0	0	0	0	2.4	0	0
キシレン	11.7	2.6	0	0	0	0.04	0	0
トリクロロエチレン	11.0	5.2	0	0	0	5.8	0	0
アンチモン及びその化合物	10.6	0	0	0	0.07	0.50	0	0
鉛及びその化合物	7.9	0	0	0	0.07	0.25	0	0
フタル酸ジ-n-ブチル	5.8	0	0	0	0.05	0.18	0	0
テトラメチルチウラムジスルフィド(チウラム)	5.2	0	0	0	0.05	0.17	0	0
コバルト及びその化合物	3.6	0	0	0	0.02	0.17	0	0
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3.3	0	0	0	0.03	0.10	0	0
ベンゼン	2.2	0.14	0	0	0	0	0	0
エチルベンゼン	2.1	0.42	0	0	0	0	0	0
ホルムアルデヒド	1.8	0	0	0	0.02	0.06	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	1.2	0	0	0	0.01	0.06	0	0

平塚製造所 (ハマタイト工場)

物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋立処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,113.3	0	0	0	0	6.0	0	0
m-トリレンジイソシアネート	315.5	0	0	0	0	0	0	0
マンガン及びその化合物	262.8	0	0	0	0	2.4	0	0
フタル酸n-ブチル=ベンジル	189.8	0	0	0	0	0	0	0
トルエン	180.3	2.3	0	0	0	17.9	0	0
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	135.1	0	0	0	0	1.2	0	0
キシレン	62.7	0.13	0	0	0	0.50	0	0
3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	49.5	0	0	0	0	0	0	0
エチルベンゼン	27.9	0.06	0	0	0	1.2	0	0
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	20.4	0	0	0	0	0.04	0	0
フェノール	18.7	0	0	0	0	0.15	0	0
クロロベンゼン	12.6	0.002	0	0	0	0.006	0	0
1,3,5-トリメチルベンゼン	6.1	0.01	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	4.9	0	0	0	0	0	0	0
有機スズ化合物	3.7	0	0	0	0	0.007	0	0
1,2-ジクロロエタン	2.8	0	0	0	0	0.02	0	0
テトラメチルチウラムジスルフィド(チウラム)	2.4	0	0	0	0	0	0	0
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	1.4	0	0	0	0	0.003	0	0
ダイオキシン類(mg)	65.5	17.5	0	0	0	48.0	0	0

PRTR対象物質

(単位:トン/年)

三重工場

物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	475.9	0	0	0	0	3.1	0	0
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	111.3	0	0	0	0	3.1	0	0
トルエン	76.8	62.2	0	0	0	0	0	0
コバルト及びその化合物	26.2	0	0	0	0	0.41	0	0
キシレン	15.7	3.7	0	0	0	0.35	0	0
ホルムアルデヒド	14.7	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	2.4	0.94	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類(mg)	277.8	171.7	0	0	0	106.1	0	0

三島工場

物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	206.1	0	0	0	0	1.0	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	101.7	0	0	0	0	0.50	0	0
トルエン	55.3	55.3	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	24.3	0	0	0	0	0.12	0	0
フェノール	11.5	0	0	0	0	0.06	0	0
キシレン	4.7	4.7	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	1.2	1.2	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類(mg)	1.2	0.71	0	0	0	0.51	0	0

新城工場

物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	447.2	0	0	0	0	1.7	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	173.8	0	0	0	0	0.40	0	0
トルエン	66.6	66.6	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	36.3	0	0	0	0	0.13	0	0
コバルト及びその化合物	17.9	0	0	0	0	0.12	0	0
フェノール	16.1	0	0	0	0	0.24	0	0
ホルムアルデヒド	7.3	0	0	0	0	0	0	0
キシレン	5.9	5.9	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	1.3	1.3	0	0	0	0	0	0

尾道工場

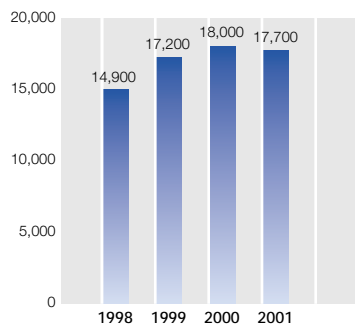
物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	46.7	0	0	0	0	0.04	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	43.8	0	0	0	0	0.04	0	0
トルエン	6.0	4.6	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類(mg)	89.5	89.4	0	0	0	0.05	0	0

茨城工場

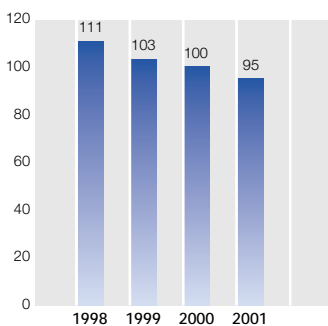
物質名	取扱量 (t/年)	排出量・移動量						
		大気 排出量	公共用水域 排出量	土壌 排出量	自己 埋処分量	廃棄物 移動量	公共下水道 移動量	処理施設 移動量
鉛及びその化合物	53.5	0	0	0	0	0	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	26.1	0	0	0	0	1.0	0	0
トルエン	22.9	5.2	0	0	0	0.33	0	0
有機スズ化合物	6.6	0	0	0	0	1.6	0	0
キシレン	5.6	0.35	0	0	0	0.12	0	0

ヨコハマタイヤ・フィリピンの環境データ

電力使用量 (千kwh)



水使用量 (千m³)



2001年度産業廃棄物 (Kg)

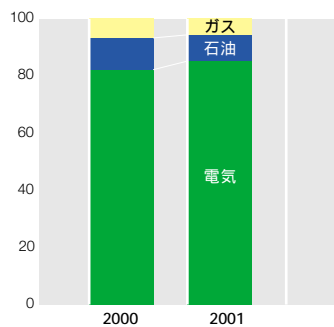
排出量	埋め立て	サーマルリサイクル	マテリアルリサイクル
669,400	86,760	322,700	259,980

環境投資 (ペソ)

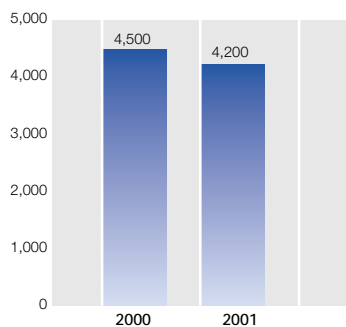
年度	投資内容	投資額
1998	リサイクル関連環境整備など	1,143,376
1999	下水処理施設の拡張等	2,834,691
2000	動力設備の改善など	707,889
2001	排水処理改善	2,150,500

横浜ハイデックスの環境データ

エネルギー使用構成比 (原油換算 %)

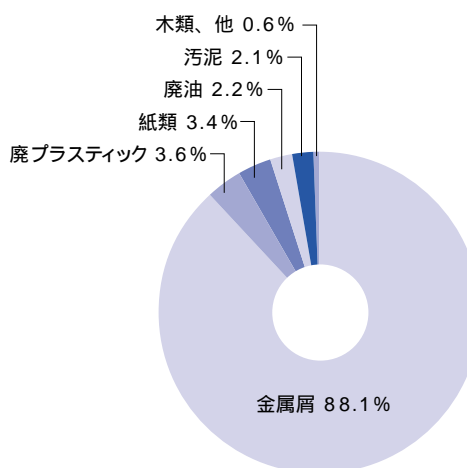


CO₂排出量 (トン)



廃棄物種類別発生量 (%)

2001年度(2001年7月~2002年3月)



ISO14001導入にともない、廃棄物発生量管理を2001年7月より行っています。

環境保全活動の歩み

- 1971 公害防止を目的として全社組織の環境改善部を創設
- 1972 省エネルギーを推進する為の会議体を設置
- 1974 生産工場への排煙脱硫装置の設置を開始
無排水の生産工場の完成(尾道工場)
排水処理設備を有する産業廃棄物最終処分場の完成(平塚製造所)
- 1975 天然ゴム臭を処理するボイラー脱臭装置が完成(平塚製造所)
表面処理排水処理装置の完成(平塚製造所)
「公害の手引き」を発行
- 1976 環境改善部の組織・名称を変更 環境管理室
廃タイヤ利用のリサイクル実証プラント設置(平塚製造所)
地盤沈下防止の為水循環再利用装置の完成(平塚製造所)
窒素酸化物低減の為、低NOxバーナーの設置(平塚製造所)
- 1992 従来の環境管理室を発展・強化させ名称を変更「環境保護推進室」
環境に配慮した廃熱利用式大型タイヤ焼却炉が完成(三重工場)
- 1993 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスへ転換(第1期)
「環境行動計画」策定。行動目標としてオゾン層保護、地球温暖化対策、産業廃棄物削減、製品再資源化を掲げる。
- 1994 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスへ転換(第2期)
天然ゴムの梱包材を木製から鉄製枠の通い便方式に変更を開始
平塚製造所、特定フロンを代替フロンへ転換完了
- 1995 「環境の手引き」発行。環境保護の意味、内外の動きなどを紹介
ポリエチレンシートリサイクルで、95年度「リサイクル推進協議会会長賞」受賞
- 1996 平塚製造所、1.1.1-トリクロロエタンの使用を廃止
三重工場96年度「リサイクル推進協議会会長賞」受賞
平塚製造所「かながわ地球環境賞」受賞。用済みタイヤ再利用が評価される。
- 1997 三重工場に大型脱臭装置を導入(第1期)
尾道工場 緑化モデル工場として広島県知事賞を受賞
- 1998 「環境行動計画」を改訂
「タイヤLCA」手法を開発
国内全生産事業所で三島工場が初めて「ISO14001」認証取得
- 1999 国内全生産事業所で「ISO14001」認証取得完了
平塚製造所に「コージェネレーションシステム」を設置
- 2000 尾道工場、新城工場がエネルギー管理で「通産省表彰」を受賞
環境保護への取り組みを紹介する冊子「エコレポート」を制作
ヨコハマ タイヤ・フィリピン「ISO14001」認証取得
- 2001 研究開発段階から有害化学物質を排除する「化学物質管理強化」を開始
三重工場にゴム臭気防止設備導入(第2期)
三島工場ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換
埋め立て廃棄物を「2005年度末までにゼロ」にするゼロ エミッション活動開始
2000年度環境会計を公表
- 2002 三島工場 地域環境保全功労賞を受賞

『環境報告書ガイドライン』準拠の状況

項目			参照ページ
経営責任者緒言	重要	環境問題への認識	6
		環境情報開示に関する基本姿勢	3
	望	環境方針・目標	3
		経営責任者の署名	3
基本的要件	重要	報告対象期間、発行日、次回発行予定	4
		報告対象分野	4
		作成部署および連絡先	40
	望	コミュニケーション手段	別刷り
		ホームページのアドレス	40
事業概要等	重要	事業所毎の問い合わせ先	9
		事業の具体的内容	4
		全体的な経営方針	6
	望	本社の所在地	4
		主要事業所の数と所在地・生産品目	9
		従業員数	4
	望	売上高	4
環境保全への取り組みの歴史		38	
経営方針・考え方	重要	活動規模に関する情報	9
		環境保全に関する経営方針・考え方	6
	望	制定時期、制定方法、位置づけ	6
目標、計画および実績等の総括	重要	方針の解説、説明	6
		環境中長期目標	8
		当期環境目標	8
	望	実績および結果に対する評価	8
		事業内容、製品・サービスの特性に応じた課題	5
環境会計情報の総括	重要	報告対象期間における特徴的な取組	16～29
		前回の報告時と比べて追加・改善した取組等	16～29
		集計範囲、対象期間等の基礎情報	32
		環境保全コスト及び主な取組の内容	32
		環境保全対策に係る効果	32
環境マネジメントシステムの状況	重要	集計に採用した方法等の補足情報	32
		環境省「ガイドライン」に準拠	32
		全社的な構築及び運用状況	7
		組織・体制の状況	7
		ISO14001の認証取得状況、認証取得時期	4
		環境保全に関する従業員教育等の実施状況	7
		緊急事態の内容と緊急時対応の状況	7
環境影響の監視、測定の実施状況	20		
技術、製品・サービスの環境適合設計の研究開発の状況	重要	監査基準、実施状況、結果及び対応方法等	7
	望	環境適合設計の研究開発の状況	23
環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	重要	LCA手法を用いた研究開発の状況	23
	望	環境コミュニケーションの実施状況	30
環境に関する規制遵守の状況	重要	利害関係者とのコミュニケーション実施状況	30
環境に関する社会貢献活動の状況	重要	環境法規制とその対応状況	34、35
	望	事業者又は従業員による環境に関する社会貢献活動の状況	30、31
物質・エネルギー等のインプットに係る環境負荷の状況及びその低減対策	重要	加盟又は支援する環境保全に関する団体	31
		環境負荷の全体像	14、15
		主要な物質の定量的フロー図	14、15
		総エネルギー消費量及びその低減対策	14、15、18
事業エリアの上流での環境負荷の状況及びその低減対策	重要	水利用量及びその低減対策	14、15、21
		有害物質投入量及びその低減対策	14、15、19
不要物等のアウトプットに係る環境負荷の状況及びその低減対策	大気への排出	グリーン購入の状況	21
		温室効果ガス排出量およびその低減対策	18
		PRTR対象物質排出量及びその低減対策	19、35、36
		排出抑制物質の排出濃度及びその低減対策	19、35、36
		騒音、振動の発生状況及びその低減対策	21、30
	水域・土壌への排出	悪臭の発生状況及びその低減対策	21、30
		PRTR対象物質排出量及びその低減対策	19、35、36
		排水規制項目の排出濃度及びその低減対策	19、35、36
	廃棄物等の排出	廃棄物等の総排出量及びその低減対策	16、17
		再使用される循環資源の量及びその増大対策	16、17
		再生利用される循環資源の量及びその増大対策	16、17
		熱回収される循環資源の量及びその増大対策	16、17
		焼却処理される廃棄物の量及びその低減対策	16、17
PRTR対象物質の廃棄物移動量及びその低減対策	最終処分される廃棄物の量及びその低減対策	16、17	
	有害廃棄物排出量及びその低減対策	19、35、36	
	PRTR対象物質の廃棄物移動量及びその低減対策	19、35、36	

当エコレポートは、環境省の「環境報告書ガイドライン(2000年度版)」を参考に作成しました。

お問い合わせ先

横浜ゴム株式会社

広報部

〒105-8685 東京都港区新橋5 - 36 - 11

電話 (03) 5400-4531

FAX (03) 5400-4570

<http://www.yrc.co.jp>

環境保護推進室

〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号

電話 (0463) 35-9512

FAX (0463) 35-9544

<http://www.yrc.co.jp/env>



2002年9月

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています